

誰もが訪れたいくなる施設の実現に向け 「学校施設の地域開放」について考えよう！

Vol.2



開催日：2021年3月10日(水)

時間：午後6時30分～8時30分

参加者：約30名

会場：高野町公民館2階 大会議室

📖 当日のプログラム

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 教育長ごあいさつ | 5. グループワーク |
| 2. 前回の振り返り | 6. 発表 |
| 3. 横山俊祐氏による基調講演 | 7. おわりに |
| 4. 計画素案について | |

グループワークテーマ

テーマ1

学校の計画案を理解し、地域開放可能なスペースを考えよう

テーマ2

学校の地域開放可能なスペースや公民館施設で、どのような活動ができるか考えよう

1. 学校施設の地域開放に関する基調講演



“基調講演 特別講師”

大阪市立大学大学院 工学研究科
客員教授

大阪市立大学 名誉教授

よこやま しゅんすけ

横山 俊祐 氏

『教育施設』

『学校教育論』 『まちづくり』

〈研究分野〉

〈講演会概要〉

- 地域に開いて守る学校施設 -

- 『地域開放のための組織づくり』
- 『学校と地域の連携及び協働と推進体制』
- 『コミュニティスクールの仕組みと在り方』

- 地域開放された学校施設の事例紹介 -

- 『学校による地域コミュニティの活性化』
- 『地域資源の保全と継承』
- 『学校を媒体としたコミュニティづくり』 等

2. 各チームの討論内容の振り返り

『さくらチーム』

〈地域開放施設と活動内容〉

音楽室

- ◆ホールで発表会
最低限の音響設備を整備
- ◆琴の教室

英語教室

- ◆大人の語学学習
こどもも大人も一緒に英検等の勉強をする風景がいいな

グラウンド

- ◆芝生のグラウンドを整備
気候や手入れに気を付けるべき
- ◆ナイター利用時に近隣に迷惑を
かけないようにルールを策定

家庭科室

- ◆料理教室
町民が調理実習を行う
精進料理等

大会議室等

- ◆カラオケ大会
- ◆ダンススタジオ
ティラピス、ヨガ

その他の意見について

- ◆屋根付きパーキングが欲しい
- ◆高野町独自の文化活動を広げる
- ◆現在でも行われている地域連携
行事を当該施設でも行えるように
- ◆参観日以外の日でも、日常的に
大人とこどもと一緒に学べる環境
- ◆給食の試食ができるランチルーム
- ◆夜間の利用
- ◆土、日、祝日の利用
- ◆高野山なんでも博物館の設置
- ◆地域交流の中で学校教育に貢献
できる人材を発掘し学校と地域
との交流につなげる
- ◆スポーツ活動のコーチを町民
から募る(スポーツに限らず)
※町外の人材も集う魅力的な施設
運営づくりが必要
→授業の一環として補助、指導



『ひめしやがチーム』

〈地域開放施設と活動内容〉

プール

- ◆スイミング教室

音楽室

- ◆家に眠ってる楽器を寄付
→児童生徒が気軽に利用できる
環境づくり

みんなの広場

- ◆半屋外スペース

体育館

- ◆合同クラブ活動
(地域と学校)

グラウンド

- ◆野球・ソフトボール

図書館

- ◆可動式本棚
- ◆町民の発表の場
- ◆大人とこどもと一緒に勉強
- ◆3階から図書館が見える

家庭科室

- ◆茶道(和室でも)
- ◆料理教室

周辺の外部空間

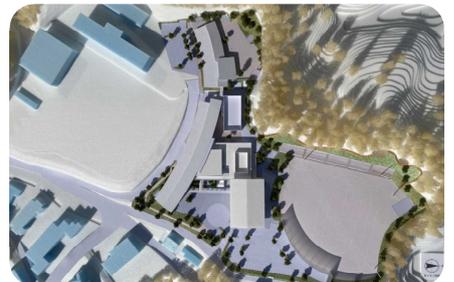
- ◆柵なし、壁なし

技術・図工室

- ◆DIY(地域利用)

その他の意見について

- ◆顔認証システムの導入
- ◆地域開放のために
初めにきちんとルールを決める
- ◆地域が常駐できるサロンを設置
人の目でこどもたちを守る
- ◆土、日、祝日において
先生に代わる管理人が必要
(先生は代休が取れないため)
- ◆地域の会合ができる(飲食等)
- ◆診療所
高齢者が訪れ、集う仕組み
- ◆平日の日中も施設を開放、交流
- ◆日常的に普通教室での授業や
特別教室での授業を見られる
- ◆英会話教室
※国際観光都市として



『もみじチーム』

〈地域開放施設と活動内容〉

プール

- ◆健康促進教室

体育館

- ◆こどもと大人の運動教室
 - ・こどもは体力づくり
 - ・大人はダイエット
- ◆防災拠点テント

図書

- ◆昔話や地域の昔語りが聞ける自町教育
- ◆写経教室
- ◆お経教室
- ◆読み聞かせ
- ◆卓球大会
- ◆ヨガ、太極拳

給食・家庭科室

- ◆そば作りなどの総合授業に町民も参加できる行事
- ◆郷土料理や精進料理
- ◆ミシン等の家庭科教室の道具を活かしたものづくり

技術・図工室

- ◆華道・茶道
- ◆自然を活かしたものづくり
- ◆木育、木の積木
- ◆木のボールプール製作

音楽室

- ◆琴や太鼓などの和楽器
- ◆演奏会、音楽鑑賞など

みんなの広場

- ◆盆踊り大会
- ◆お祭り

グラウンド

- ◆社会体育
- ◆体力づくり

周辺の外部空間

- ◆外部の山や建築物の壁、ネットフェンスなどの畑や花壇
- ◆広いスペースで野外コンサート
雨の日はホールで開催
- ◆山歩き、庭歩き教室
- ◆トレイルラン

その他の意見について

- ◆意見箱を設置し、広報や口コミが書けるように
- ◆開かれた学校施設となるためセキュリティの確保に配慮
- ◆図書館は大学図書館と連携
- ◆特別教室や体育施設を学習塾や習い事に活用
- ◆定期的にワークショップを開催し特技や趣味を教えられる人を発掘する話し合いの場を設ける
- ◆PTA 活動に一般人も参加
- ◆教職員間の交流を促すため職員室は一室とし、壁を少なく
- ◆高野山をテーマとした学び



『まんさくチーム』

〈地域開放施設と活動内容〉

プール

- ◆スイミングスクール
プロを輩出できたらいいな！
- ◆町民の健康増進

体育館

- ◆球技スポーツ
- ◆武道場として利用
- ◆ダンススタジオ、壁面鏡張り
- ◆トレーニングジム

多目的スペース

- ◆こどもや町民の製作物を展示
➡外部からも見られる設え
- ◆成果発表の場

その他の意見について

- ◆セキュリティについて
 - ・観光客も利用できる環境作り
 - ・施設利用者（町民）でこどもを見守る体制作り
 - ※数多くの利用者が必要
 - ➡目的の無い人でも気軽に集まり談話できる場づくり
 - ・守衛室の設置
- ◆バス運行等の送迎サービス
- ◆すべての施設が土日利用可能
- ◆プール
 - ・競技の大会に使用できる規模か
 - ・地域開放時の衛生に関して対策が必要では？
 - ・開放時間の設定
- ◆学童生活室を小中学校施設と隣接
- ◆教育委員会は中心になくてもいい
- ◆手芸スタジオやダンススタジオ等は参加者の人数に合わせた会場選択
- ◆自分の作品を展示したい

図書館

- ◆映画鑑賞
- ◆製作物や文化財の展示

音楽室

- ◆図書館と連続し、吹き抜けを活かした音楽ホールづくり
- ◆スタジオ（動画制作等）
- ◆コーラス

家庭科室

- ◆英語に限定せず、多言語学習教室として利用
- ➡外国人観光客との交流へ

技術・図工室

- ◆ものづくり（DIY、遊具づくり等）
- ◆美術室としても利用

小中広場

- ◆フットサル
（簡易な策でコートづくり）
- ◆食堂、青空カフェ
- ◆自動販売機の設置

グラウンド

- ◆凍結したグラウンドでカーリング
氷点下予想日前日に町民で散水

高低差のある敷地

- ◆クロスカントリー
- ◆大きくて長い滑り台



3、ファシリテーターの感想

『さくらチーム』

今回、地域交流・地域開放について横山先生にご登壇いただきお話をしていただいた上での議論でしたが、参加者の皆様からのご意見として私が特に印象的だったのは、「高野町、結構できてるやん！」という意見でした。このご意見の通り、普段から地域一体となって町を考えている地域の皆様とのWSは、今回も魅力あるアイデアがたくさん出てきました。次回は最後のWSとはなりますが、地域交流・地域開放施設の最先端の、もう一歩先を目指す施設として、使い手である皆様や町にとって欠かせない“交流拠点”となるよう、さらに議論を深めていきたいと思いました。

『ひめしやがチーム』

1回目につき、和気あいあいと前向きな議論がたくさんできました。先生のご講演にありました、地域開放・連携の取組を、すでに多くを取り入れられおり、地域と学校みんなで子どもたちを育てるという風土が根付いていることがとても印象的でした。皆さまが同じ方向を向いて、素晴らしいアイデアを活かした学校ができれば、本当に高野町にしかない唯一の「学びの交流拠点」ができ、地域の誇りとなる施設ができるだろうと、期待感が夢が膨らみました。

『もみじチーム』

事業名称「高野町学びの交流拠点」が物語っているように、児童・生徒の施設ではなく、町民みんなの施設として町民がどれだけ使い倒せるのか。どれだけ交流できるのか。それらがとても大事だと思います。WS内では高野町らしさの目立った意見が印象的でした。家庭科室を利用した精進料理教室や和室を利用した宗教舞踊や、御詠歌、図書室を利用した地域の昔語りなど素敵なアイデアがいっぱい出て、誰もが教え・学ぶことができる環境が将来の高野町の“普通”の姿になることを願っています。

『まんさくチーム』

今回のテーマである“地域開放”は学びの交流拠点の実現に向けて非常に重要な回だったと思います。その中で現在、実際に町内で行われている交流や高野町だからこそ可能な交流の形を柔軟な発想の元、数多くの素敵なお意見をいただきました。前回に引き続きより一層リアルな声、要望を知ることができ、着実に前に進んでいると実感しております。残念ながら次回でワークショップは最後となりますが、いままでに言えなかった意見がございましたら遠慮なく言っていただき、爽りの多いワークショップになればと思います。

4、横山俊祐氏から見た第2回ワークショップ

〈本物のワークショップに出会って〉

ワークショップ（以下、WS）に初めて参加して、大いなる盛り上がりには驚きました。そこには、

- ①年齢や立場・経験を超えての参加者間の水平的（対等）な関係
- ②笑いあいの楽しい自由な雰囲気
- ③議論があっちこっちに漂流しながらも、ある方向性を指し示す「ありの行列」のような創発
- ④自らの経験・価値観に拘らずに未知の領域に果敢に分け入るチャレンジ精神と前向きさ
- ⑤全ての意見が等価に尊重されること

等々、「これぞWS！」と言える本物の姿に満ちていました。それは、参加者のみなさんの天分なのか、高野山という地域力なのか、はたまたWS慣れなのかはわかりませんが、これからも素晴らしい学校づくりに向けて、主体的・対話的・深い議論や提案によるアクティブ・プランニングに大いに期待を寄せています。

5、次回ワークショップ案内

第3回 テーマ：高野町学びの交流拠点の更なる魅力化に向けて

開催日：2021年4月14日（水）

時間：午後6時30分～8時30分

会場：高野町公民館2階 大会議室

主催：高野町
事業者：松井建設株式会社
：安井建築設計事務所